

公衆衛生看護管理論	3年・後期	2単位 30時間	教授 島田 昇 他
科目カテゴリー	看護提供のあり方	科目ナンバリング	33420943

1. 授業のねらい・概要

学生は地域に顕在する，あるいは潜在する健康問題の把握方法，地域住民のニーズの把握方法について理解し，保健福祉計画の策定，予算化，実施・評価のプロセスを説明できることを目的とする。そこから，保健福祉計画の策定から評価における保健師の役割を考察することができ，健康危機時の管理能力，ケアシステムづくりも併せて考察することができる。

2. 学修の到達目標

1. 地域診断の目的と意義を3項目すべて述べるができる。(D-2)
2. プリシード・プロシードモデルの8つのフェーズを述べるができる。(D-2)
3. コミュニティ・アズ・パートナーモデルの8つサブシステムについて述べるができる。(D-2)
4. 地域特性のアセスメントの3項目について述べるができる。(D-2)
5. 地域の健康に関する特性のアセスメントについて4項目述べるができる。(D-2)
6. 地域の情報収集の方法について3つ述べるができる。(D-2)
7. 地域診断の実際を通し，地域特性や住民のニーズ，健康課題を抽出することができる。(D-3)
8. 保健福祉事業計画の策定について説明することができる。(D-3)
9. 保健福祉事業計画の予算化のしくみについて説明することができる。(D-3)
10. 保健福祉事業計画の実施・評価について説明することができる。(D-3)
11. 地域保健活動計画作成の過程について4項目を述べるができる。(D-3)
12. 地域看護活動計画の評価項目について4項目を述べるができる。(D-3)

3. 授業の進め方

テキストに基づいた講義と，演習（地域診断）を中心に進める。下記の計画にそって授業を進める。また，自己学習しやすいように，社会問題等を随時取り上げ，広く施策化・実施・評価について学びを深める。

【アクティブ・ラーニング実施の有無】

アクティブ・ラーニングとして，事前学習型授業を用いる。

【ICT活用の有無】

ICT活用の実施：自身の住所地（市町村）の情報収集（ホームページ・広報・観光パンフレット・市町村行政統計・保健医療福祉計画・人口動態）ためにインターネットを用いて調査する。

4. 授業計画（講義・演習）

回	授業内容	授業形態	事前事後学修（学修課題）	担当
1	公衆衛生看護管理論とは	講義	予習：公衆衛生看護学.jp「地域診断の概念」p123～124を読んでまとめる。	島田 昇

			復習：講義内容の地域診断の概念についてレポートにまとめておくこと。	
2	地域診断：地域特性の把握	講義	予習：公衆衛生看護学.jp「地域保健活動に用いる理論と方法」p125～129を読んでまとめる。 復習：プリシード・プロシードモデルとコミュニティー・アズ・パートナーモデルについてレポートにまとめておくこと。	島田
3	地域診断：アセスメント項目と情報の収集方法	講義	予習：公衆衛生看護学.jp「地域アセスメント項目」、「情報の収集方法」p129～134を読んでまとめる。 復習：講義内容の地域保健活動の情報収集・分析（アセスメント）についてレポートにまとめておくこと。	島田
4	地域診断：情報の分析方法	講義	予習：公衆衛生看護学.jp「情報の分析」p135～143を読んでまとめる。 復習：講義内容の地域保健活動の課題抽出についてレポートにまとめておくこと。	島田
5	地域診断の実際 ①	演習	予習：自身の住所地（市町村）の情報収集（人口動態・保健統計）について調べてまとめる。 復習：地域診断の発表を聞き、実際に地域診断を行うための方法についてレポートにまとめる。	島田 他
6	地域診断（地域の情報収集）インターネットの活用	演習	予習：自身の住所地（市町村）の情報収集（市町村行政統計・予算計画）について調べてまとめる。 復習：歴史、人口動態、住民の様子、価値観と信条について所定の用紙（様式1）を完成させ見直しをする。	島田 他
7	地域診断（地域の情報整理）インターネットの活用	演習	予習：自身の住所地（市町村）の情報収集（保健医療福祉計画・災害計画）について調べてまとめる。 復習：物理的環境、保健医療と福祉について所定の用紙（様式2）を完成させ見直しをする。	島田 他
8	地域診断（地域の情報分析）インターネットの活用	演習	予習：自身の住所地（市町村）の情報収集（保健事業概要）について調べてまとめる。 復習：安全と交通、政治と行政について所定の用紙（様式3）を完成させ見直しをする。	島田 他
9	地域診断（地区踏査）	演習	予習：自身の住所地（市町村）の情報収集（地区踏査：街並み・概観）について調べてまとめる。 復習：調べた情報から、地区指針のガイドライン（様式4）を完成させ見直しをする。	島田 他
10	地域診断（地域特性をまとめる）	演習	予習：完成させた地域診断の用紙からアセスメントを行い、自身の住所地（市町村）についての概要をまとめる。 復習：所定の用紙（様式5-1：地域の特性）を完成させ見直しをする。	島田 他
11	地域診断（国・県・近隣市町村との比較）インターネットの活用	演習	予習：国政、自身の住所地（県）の情報（人口動態・保健統計）について調べてまとめる。 復習：市町村の統計データと国・県・近隣市町村の統計データを比較分析し	島田 他

			て所定の用紙（様式 5-1：国・県・近隣市町村との比較）を完成させ見直しをする。	
12	地域診断（健康課題の抽出）	演習	予習：市町村の概要と、国・県・近隣市町村とを比較分析から、この地区の健康課題を抽出する。 復習：所定の用紙（様式 5-2：地区踏査のまとめ）を完成させ見直しをする。	島田 他
13	地域診断（健康課題の要因の分析） インターネットの活用	演習	予習：市町村の概要と、国・県・近隣市町村とを比較分析から、この地区の健康課題の要因を分析する。 復習：抽出された健康課題について、所定の用紙（様式 5-3：地区の人々が健康で快適な生活ができるための課題）を完成させ見直しをする。	島田 他
14	地域診断（健康課題への対応策） インターネットの活用	演習	予習：抽出された健康課題について市町村の対策、施策を調べてまとめる。 復習：健康課題への対策・施策の実際について、所定の用紙（様式 5-4：見出した地区の人々が健康で快適な生活ができるための課題への対策）を完成させ見直しをする。	島田 他
15	地域保健活動計画と保健師の役割	講義	予習：公衆衛生看護学.jp「地域保健活動計画と保健師の役割」p144～151を読んでまとめる。 復習：講義内容の「評価の枠組み」について教科書を使ってまとめておくこと。	島田

5. 成績評価の方法・基準

定期試験（受験資格は 3 分の 2 以上の出席した者）70%，演習課題（地域診断）30%で総合的に評価する。合格基準は 60%以上とする。合格基準に満たない（60%未満）場合は、単位認定できない。

成績評価は「2. 学修の到達目標」に示した達成状況を、ルーブリック評価表を基に、5 段階評価で採点する。尚、ルーブリック評価表に関する詳細については、第 1 回講義内で紙面にて別途説明する。

演習課題（地域診断）について、演習内容、演習方法、提出期限、提出方法（場所）、評価の基準詳細（コミュニティー・アズ・パートナーモデルの様式に基づいた評価）は、第 1 回講義内で紙面にて提示する。

定期試験の出題範囲及び出題方法等は、講義内にて口頭で説明する。

6. テキスト・参考文献

テキスト：荒賀直子，後閑容子（2024）公衆衛生看護学.jp インターメディカル

7. 準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な内容

シラバスの授業計画の範囲について最低 90 分以上の予習及び、授業内容について 90 分以上の復習を実施すること。

8. 受講上の留意事項

指定されたテキストの範囲を事前に読んでから授業に臨むこと。また、国家の施策策定、財政、予算などの広い知識が役立つ。日頃から新聞を読みニュースに触れて、政治・経済について関心を高める

こと。また、図書館を積極的に利用し、文献や専門雑誌に目を通す習慣をつけること。
遅刻、欠席ならびに授業中の私語、授業に関係ない言動（スマホの使用等）は慎むこと。
講義時間開始後の無断での教室の入室および退出は慎むこと。

9. 課題に対するフィードバックの方法

試験の解答は試験後に口頭にて解説する。

提出された課題は教員が確認して返却する。内容が不備なものは再提出を求める。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

保健師教育課程必修科目であり、修得できない場合保健師国家試験受験資格が不可となる。

11. 該当する本授業は、以下の実務経験を活かして実施される

行政委託機関及び、医療機関での保健師としての勤務経験を活かして、講義・演習を行う。